

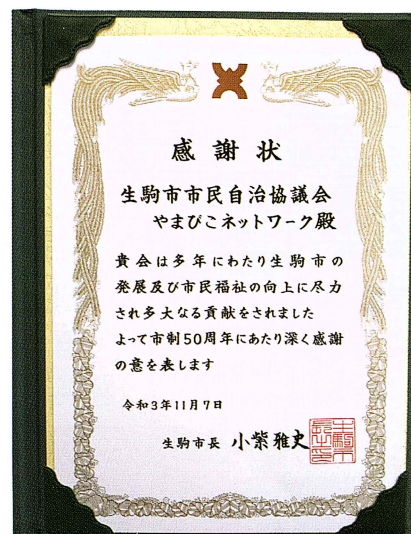
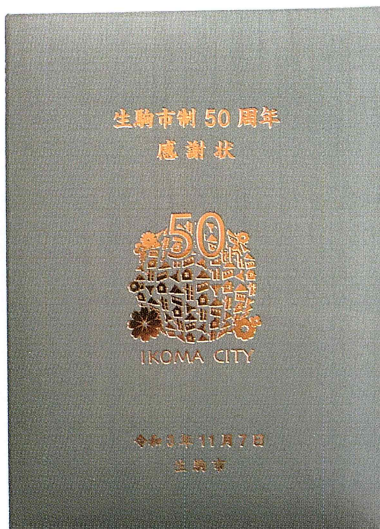
あいさつでつなごう
地域のきずな

こんにちは 新しい年を迎えました

今年も、やまびこネットワークは頑張ります。
諸活動に、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

感謝状をいただきました

昨年11月7日に開催されました「市政50周年記念式典」において、やまびこネットワークが、市政のこれまでの発展を支えてきた団体として感謝状をいただきました。これまでの諸活動を支えてくださった多くの皆様方に厚くお礼申し上げます。

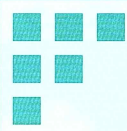


『冬の子どもフェスタ』今年ば実施します！

雪不足や新型コロナウイルスの感染で、実施できなかった上記事業を、安心・安全を最優先して下記の予定で実施します。但し、新型コロナウイルスの感染状況により中止にする場合があります。開催の是非を含めて詳しい実施要項は、後日お子様を通じてお知らせいたします。

◎日 時 令和4年1月30日(日) 13:00~15:00
◎場 所 吉分小学校運動場・吉分幼稚園園庭(二会場)
◎内 容 雪遊び&軽スポーツ体験(遊び)





第5回まちづくりワークショップ

～ポスト・コロナに向け今後の活動のあ

11月3日(祝)に壱分小学校の体育館において、第5回まちづくりワークショップを開催しました。今回のワークショップをお招きして「ポスト・コロナのまちづくりを考えよう」をテーマに、これまでの「やまびこネットワーク」の取組を振り返り、交流会としました。

当日は、市長、教育長のご臨席のもと、約50人の方々に参加頂き、活発な意見交換が行われました。

まず、清水代表よりこれまでの経緯を報告。いわゆる「楓ちゃん事件」をきっかけとして子ども達の安全安心を確保する「やまびこネットワーク」を設立、平成28年には生駒市で第一号の市民自治協議会に認定され、活動の幅を広げてきた。その後、中川幾郎先生から「現代型のコミュニティ組織が必要となる理由」と題してご講演頂きました。その要旨

- 災害が発生した当初時は行政の動きが止まり、地域の力が必要となる。しかし、一億総中流と言われていた社会が、高齢化が進み、経済的な余裕のない高齢者が増えることによって地域の担い手が減り、地域の力が弱くなってきている。また、昨今は、コロナ禍で様々な活動が停止することにより、人間同士の距離が広がってしまっており、「次に動けるのか?」といった不安もある。
- 住民自治のしっかりとした地域では、安全性が高まるなど、行政コストが低下する。あいさつ運動は地域の防犯力の向上をはじめ、全ての活動の基礎となる。
- 福祉、消防、教育、防災、防犯、インフラ整備など、あらゆる分野の事業が地域でできる。役所の役割は大規模な事業と法規制に基づく事業だけであり、逆に、ひとり暮らしの世帯への声かけなど、地域でしかできない事業もある。既に、兵庫県朝来市では、福祉サービス、産業・ビジネス、生涯学習、都市・農村交流、コミュニティサービス、子ども・高齢者の居場所づくりなどの活動を行っている地域自治協議会が見られる。このような、総合型住民自治組織づくりの流れが出てきている。
- これまでの地域の担い手は、時間的余裕、経済的余裕、健康、社会関係、家族といった全ての要件に恵まれた人であった。しかし、地域社会が変質する中で、これからは全ての要件に恵まれていない人でも担い手になれるよう、ハンディキャップを補い合える環境整備が必要となる。
- これからのまちづくりを考える際のポイントは次の通り。
 - ▼何でもやることを前提に考える。既に様々な分野の関係団体が存在するが、地域で何が足りていないか、何ができるかを考える。
 - ▼全ての層を対象とした事業、特に女性層や若い層(働き盛りの層)が参加できる事業を考える。特に、子どもを対象としたイベントが若い層を引き込むのに有効。
 - ▼コミュニティスクールを進めることは生涯学習を地域で展開することに繋がる。地域の課題を抽出し、その解決策を検討し、解決に必要な技術やノウハウを学習し、実践に繋げていくことが大切である。このような活動を支援するために図書館や博物館・資料館が存在する。
 - ▼地区(自治会)ごとの特性(違い)を踏まえた事業を考える。そのために各地区(自治会)の代表が組織に参加していなければならない。
 - ▼安全・安心が最重要課題であり、犯罪、災害への対応を最優先に考える。
 - ▼今後、生涯学習(人権の学習を含む)の充実、事務局体制の強化、コミュニティ(自治会)とアソシエーション(市民自治協議会)でのルールの違いに配慮した取組などが必要である。

ワークショップを開催 り方を考える～

ワークショップでは、中川幾郎先生(帝塚山大学名誉教授)を
講師として、振り返りながら、今後のまちづくりの課題について考える機

会を開催するために「あいさつ運動」を開始し、その後「やま
びこネットワーク」として、まちづくりの活動について確認されました。
今後の活動は次の通りです。



質疑応答の中で、若いお母さんから「これまであまり関心はなかったが、これからは少しでも活動に協力・参加していきたい」といった声も聞かれました。

新型コロナウイルス感染症もやや落ち着きを見せ、ワクチン接種も進み、特効薬の開発も進みつつある中で、少し明るい兆しが見え始めています。昨年度から活動が休止状態にありましたが、今後は感染状況を見ながら少しずつ活動を再開させていく予定です。

今回のワークショップを通して、ポスト・コロナに向けての「やまびこネットワーク」の活動のあり方に大きなヒントが得られました。さらに活動を充実させて参りますので、みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



草かり、ありがとうございました。

～壺分小児童から感謝のメッセージ～

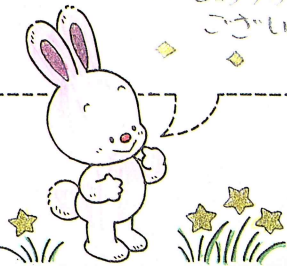


コロナ緊急感染警報が解かれた、昨年10月、2日間に亘って、校区スクールボランティアの方々が、栽培委員会の子どもたちと花壇やプランターの土の入れ替えと花植え、そして、中庭を中心に、子どもたちではできない大きく伸びた草を刈り取る作業をして下さいました。

ボランティアの方々も、コロナで自粛気味だった身体を太陽のもとで動かすことができ、元気をもらえたと喜んでおられました。

草かり ありがとうございます

わたしは、去年三学童に行っているけど、学童のまわりの草が足にささって、かたのですが草かりをしていただいた後はスッキリしたように草が足にささることがなくなると助かっています。草かりをしていただいたことにありがとうございます。



草かり ありがとうございます

学校がとてもキレイになりました。ありがとうございました。



草かり ありがとうございます

暑い中、私たちのために草かりをして下さり、ありがとうございました。草が、むしり、きれいになりました。前は多く生えていたところも、さきりして、見ていると気持ちいいです。こんな暑いのに草かりをして下さり、大変感謝しています。それでもがくは、キ、く、あ、う、れ、外、に、す、こ、れ、か、ら、も、暑い日が系統くので、体には、気をつけて、元気に過ごしたいです。

